

令和2年度 たちばな支援学校 学校運営協議会

令和2年度 第3回【3月18日（金）】

出席者：委員8名（欠席1名）、傍聴人6名

議題

- ①会長、学校長挨拶
- ②授業参観（小学部・中学部）
- ③高等部の進路状況について
- ④学校評価（今年度の成果と課題）
- ⑤次年度に向けて
- ⑥その他

議論した内容等

- 高等部の進路状況について（高等部主事より報告）
 - ・今年度の一般就労率 35%
 - ・コロナで心配していたが、先生方の努力により予想以上に結果が良かった。
 - ・今後は定着指導等を実施していく。
 - ・家族の見守り、健康面を福祉がカバーしていくのが課題。
 - ・生徒によりジョブサポーターを活用していくこともある。
 - ・今年度、ジョブコーチがつくケースが2件。後から会社と相談してつけることも可。
 - ・子供、親にとっても希望が持てる結果となっている。
- 学校評価について（校長より報告）
 - ・自転車通学の避難訓練の様子が素晴らしい。
 - ・災害について、地域（湯浅）から避難場所が第2駐車場で屋根等がなく備蓄物品の運搬が心配という声が耳に入ってきている。このような声を学校から県へ話をあげても良いのではないか。
 - 倉庫は広川町で設置してもらっている。簡易テントも少しずつ準備している。スクールバスの活用も考えている。
 - ・避難場所は、とりあえず逃げる場所。避難所は、落ち着いたら行くところ。住民の方の思いも踏まえ、災害等に対応してもらいたい。
- 非常勤講師活用の成果等について
 - ・専門性のある教員の指導は軽度の子供には必要である。

○次年度の構想について（校長より説明）

高等部教育の充実

- ・作業で素晴らしい製品を作っている。ぜひ、生徒と意見交換をしたい。生徒の思い、苦労等を聞かせてもらいたい。
- ・子供だけでなく、先生たちの笑顔、姿勢が素晴らしい。嬉しい気持ちである。
- ・生徒の意見、望みも大事だが、教師の意見も聞ける会となればと感じる。次年度は、まずは、生徒とのやりとりを実施していく。

○意見交換等

- ・卒業生で人間関係に悩みがある。→挨拶をすることから始めることを助言した。
- ・地域の方の気持ちを知ることができ感謝している。
- ・この会に入れてもらい良かった。
- ・地域との交流を増やすことがコミュニケーションの向上につながる。ぜひ進めて欲しい。
- ・社会へ出たときの土台を作っている。保護者にとっては子供と一緒に成長してもらいたい。保護者の協力を得られるようにしてもらいたい。
- ・地域で横のつながりを必要と考えていない保護者もいる。できるだけ保護者のつながりを持たないかと考えている。地域の方も力を貸していただけたらと思っている。
- ・高卒で手帳を持たれた方で挨拶ができない方が多い。支援学校を卒業した方はきちんとできている。基本を押さえ、就労に向かってもらいたい。
- ・たちばなの子供の力となれるようにしたい。地域の子供の活動の中へ参加していくことも必要。

